



とうなんしゅくつ 当 難 勿 屈

山形市立高楯中学校
学校だより
令和7年1月7日発行

新年あけましておめでとうございます

本日より3学期がスタートしました。1時間目に始業式が行われ、星川校長からのあいさつと各学年代表者から新年の抱負の発表がありました。始業式に臨む姿勢や話を聞く目線や表情を見ると、それぞれが新年の決意を持って今日の日を迎えたことが感じられました。今年度の学校生活も残り3ヶ月となりました。3年生は進路実現に向けて、1・2年生は今の学年の締めくくりと次の学年への準備期間として、充実した学期になることを願っています。

令和6年度3学期始業式 校長式辞より (抜粋)

明けましておめでとうございます。令和7年、2025年が幕を開けました。こうして皆さんと元気に3学期の始業式を迎えられることを心から嬉しく思います。

さて、今年の干支は「巳（へび）」。乙巳（きのとみ）の年といえます。「きのとみ」の年は、「再生や変化を繰り返しつつ、伸びやかに発展していく」年とされています。発展するには、日々の小さい積み重ね（努力）が大切です。みなさん「自分は何を積み重ねたいのか」考えてみてください。

4月に学校教育目標を日々意識できるよう「和」という言葉をお話しました。3学期は「平和」という言葉を意識してみましよう。日本は、この70年間戦争をせず、平和を維持してきました。このように平和が維持されている例は世界を見てもほんのわずかです。

学校教育の目的は、「人格の完成を目指すこと」そして「平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成」です。「人格の完成」とは、「一人一人のもつあらゆる能力を可能な限り、かつ調和的に発展されることを意味するもの」とお伝えしておきます。「人格の完成とはどのようなものか」と言われたら、全知全能を備えた人なのかもしれません。正直これは到底到達できるものではありませんが、だからこそ目指すのであって、実現することはおそらく一生を通じてないかもしれませんが、しかし常にそれを目指せということだと思えます。「平和で民主的な国家及び社会の形成者」ここに平和な国を作ることが、目的として明記されています。なぜ学ぶのか、という点で頭に入れておいてほしいと思います。

結びになりますが、皆さんに幸あれと願っています。一人一人が、自分を出し、私たちの学校は私たちが作る、居心地のよい生活は自分たちで作る、一人一人が主体的に人生を切り拓く、そんな日々を送りましよう。3学期、そして今年1年が、皆さんにとって「伸びやかに発展していく年」になることを願い、始業式の言葉とします。

「令和6年度『コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化推進』に係る文部科学大臣表彰」に高楯中学校が選ばれました

高楯中学校学校運営協議会・高楯地区地域学校協働活動ネットワークの取り組みが、令和6年度「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」に係る文部科学大臣表彰に選ばれました。学校運営協議会での熟議を通して学校と地域で課題を共有して地域学校協働活動につなげ、地域学校協働活動に関する情報を地域に発信し、学校を支えてくださっている地域の皆様や保護者の皆様と「地域とともにある高楯中学校づくり」を進めてきた活動が評価されたものと捉えております。これからも「ふるさとを愛する生徒」を学校と地域が一体となって育てていきたいと考えておりますので、変わらぬご理解とご協力のほどよろしくお願いたします。